### 平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)実績報告書(研究実績報告書)

1.	機関番号	1 4 6 0 3	2.	研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学
3.	研究種目名	新学術領域研究(研究領域提案型)		4.研究期間	
5.	課 題 番 号	2 2 1 2 0 0 1 0			

6. 研究課題名 フェムト秒レーザーを駆使した植物細胞の局所操作と刺激法の開発

7. 研究代表者

	職名
ホソカワ ヨウイチロウ 物質創成科学研究科	准教授
2 0 4 4 8 0 8 8 細川 陽一郎	

8. 研究分担者

研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名

#### 9. 研究実績の概要

AFMとレーザーを用いた植物細胞組織の堅さの評価:これまでに、顕微鏡下でAFM探針をシロイヌナズナの根の先端に押し当て、フェムト秒レーザー衝撃力を作用させ、根の過渡的な振動応答を検出することに成功している。本年度はこの振動応答が微小植物試料の如何なる機械特性を意味しているかを明らかにすることを目的とし、ゴム製の多孔質ハニカムフィルムを用いて実験を行い、その振動挙動を検出することに成功した。 レーザー誘起衝撃力による植物個体からの抽出液の氷化誘導:シロイヌナズナやライムギからの抽出液を過冷却状態にし、そこにレーザー誘起衝撃力による植物個体からの抽出液の氷化誘導:シロイヌナズナやライムギからの抽出液からは純水中とは異なる6分岐以上の樹上結晶が発生し、その成長速度は純水中よりも遅かった。さらに低温に馴化させた試料の方がこの傾向が強く、また糖水溶液やでも同様の現象が観察された。これらの結果より、植物が低温馴化する際に糖の濃度を上昇させ、細胞間隙で氷結晶が発生した際に細胞への損傷を抑制させる機構が、凍結耐性の一つとして示唆された。本研究は、上村松生班(計画研究イ)との共同研究である。フェムト秒レーザーによる植物細胞への遺伝子導入:昨年度、浸透圧調整した植物細胞に対してレーザーを集光照射することにより、植物細胞へGFP遺伝子を導入することに成功したと思われたが、細胞からの蛍光がGFPの発現によるものではなく、自家蛍光であることが分かった。動物細胞で実現しているレーザー遺伝子導入が植物で難しい理由として、細胞壁による遮蔽を考えられ、細胞壁を酵素処理により緩く変性させて、プラスミドと同程度の大きさ(>Mega Dalton)のDextranの導入をおこなった。その結果、導入が成功したと考えらえる結果が得られた。本研究は、長谷あきら班(計画研究ア)らとの共同研究である。

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

# 10.キーワード

(1) フェムト秒レーザー    (	<sub>(2)</sub> 植物細胞	(3) b-ザ-マイクロダイセクション	(4) <sup>▶─サ<sup>*</sup>─細胞操作</sup>
(5) <sup>レーサ<sup>*</sup> - 衝撃波 (</sup>	(6)	(7)	(8)

# 11.現在までの達成度

(区分)

(理由) 26年度が最終年度であるため、記入しない。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策) 26年度が最終年度であるため、記入しない。

## 13.研究発表(平成26年度の研究成果)

〔雑誌論文〕 計( 2 )件 うち査読付論文 計( 2 )件										
著 者 名			論	文	標長	題				
Kazusato Oikawa, Shigeru Matsunaga, Shoji Mano, Maki Kondo, Kenji Yamada Makoto Hayashi, Takatoshi Kagawa, Akeo Kadota, Wataru Sakamoto, Shoichi Higashi, Masakatsu Watanabe, Toshiaki Mitsui, Akinori Shigemasa, Takanori Iino, Yoichiroh Hosokawa & Mikio Nishimura	Physical interactio	n between perc	oxisomes and	l chloro	oplasts el	ucidat	ted b	y in :	situ la	aser analysis
雑誌名		査読の有無		巻			発行	亍年		最初と最後の頁
Nature Plants		有		1		2	0	1	5	15035
掲載論文の	DOI(デジタルオ	ブジェクト識別	子)							
10.1038/nplants.2015.35										

著者名			論	文	標	題			
Takeshi Yamakawa, Akihiro Maruyama, Hirohisa Uedan, Takanori lino, Yoichiroh Hosokawa	Experimental and o solution with motic					r induc	ed-impu	Ilsive	orce in culture medium
雑 誌 名	-	査読の有無		巻			発行年	-	最初と最後の頁
Proceeding of SPIE		有	9	350		2	0 1	5	in press
掲載論文の	DOI(デジタルオフ	ブジェクト識別	]子)			-			
10.1117/12.2077403									

〔学会発表〕 計( 7 )件 うち招待講演 計( 0 )件					
発表者名		発	表標是	<u>គ</u>	
小林啓恵, 平塚奏太郎, 宮沢豊, 藤井伸治, 長谷あきら, 細川陽一郎, 高橋秀幸	シロイヌナズナの水分屈性に	こ機能する細胞群の	)解析		
学会等名	発表年月日		発	表場	<b>影</b> 所
日本植物学会第78回大会	2014年09月12日~2014	明治大学(神奈)	県川崎市)		
	年09月18日				

	1		
発表者名		発 表 標 題	
福嶋亮介、宮本敏男、山川健、飯野敬矩、細川陽一郎	フェムト秒レーザー誘起衝響	撃力が微小生体試料へ及ぼす作用の解析	
学会等名	発表年月日	発表場所	
COMSOL Conference Tokyo 2014	2014年12月05日	秋葉原UDXカンファレンス(東京都千代田区)	

発表者名		発	表標	題	
Daisuke Katagiri, Sayaka Sakaguchi, Arata Yoneda, Taku Demura, Yoichiroh Hosokawa	Evaluation of trade-off betw	reen femtosecond I	aser manip	pulation and viability of pla	ant cell
学会等名	発表年月日			発表場 所	
PSROC 2015 Annual Meeting	2015年01月28日~2015 年01月30日	National Tsing I	Hua Univ	ersity, Hsinchu, Taiwar	1

発表者名		発	表	標	題
	Experimental and calculative solution with motion analysis				er induced-impulsive force in culture medium
学会等名	発表年月日				発表場所
SPIE photonics West 2015	2015年02月07日~2015 年02月12日	The Moscone C	enter,	, San	Francisco, USA

発表者名		発表	長 標 題	
Daisuke Katagiri, Tatsuya Kono, Sayaka Sakaguchi, Shinya Ryutaro, Takanori Iino, Hitoshi Endo, Arata Yoneda, Taku Demura, Yu Yoshi Miki, Daisuke Takahashi, Yukio Kawamura, Akira Nagatani,ichiroh Hosokawa	Introduction of megadalton solution induced by femtose		lant cell and ice crys	tal formation of plant extract
学会等名	発表年月日		発表場	所
The 2nd International Symposium on Plant Environmental Sensing	2015年03月13日~2015 年03月15日	AIST Tokyo Water	front Annex(東京	都江東区)

(4/6)

発表者名		発	表	標	題
T. Yamakawa, A. Maruyama, A. Shigemasa, H. Uedan, T. Iino, K. Oikawa, S. Mano, K. Yamada, M. Nishimura, T. Murai, Y. Hosokawa	Elucidation of Explosive Phe Action to Micro-sized Plant		Medium	n Induc	ed by Femtosecond Laser Impulse and it
学会等名	発表年月日			爭	卷表场所
The 2nd International Symposium on Plant Environmental Sensing	2015年03月13日~2015 年03月15日	AIST Tokyo Wa	aterfror	nt Ann	hex(東京都江東区)

### 〔図書〕計(0)件

著者名	出版社	
書 名	発行年	総ページ数

### 14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

## 〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考